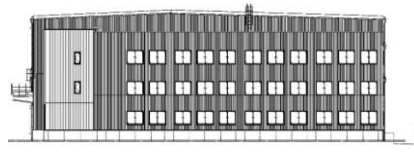


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)愛甲東新センター新築工事	階数	地上3F
建設地	厚木市愛甲東2丁目1669番 外7筆	構造	S造
用途地域	市街化調整地域、防火指定なし	平均居住人員	100人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,640時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年3月 予定	評価の実施日	2022年11月17日
敷地面積	6,637㎡	作成者	大和ハウス工業(株)関東横浜建築一級建築士事務所
建築面積	3,435㎡	確認日	2022年11月17日
延床面積	6,665㎡	確認者	大和ハウス工業(株)関東横浜建築一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

★ ★ ★ ★ ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★ ★ ★ ★ ★

標準計算

①参照値	92
②建築物の取組み	83
③上記+②以外の	83
④上記+	83

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安を示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

音環境	温熱環境	光・視環境	空気質環境
N.A.	N.A.	N.A.	N.A.

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

機能性	耐用性	対応性
N.A.	2.9	3.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

生物環境	まちなみ	地域性・
2.0	3.0	2.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

建物外皮の	自然エネ	設備システ	効率的
5.0	3.0	4.6	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

水資源	非再生材料の	汚染物質
3.4	2.4	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

地球温暖化	地域環境	周辺環境
3.6	3.4	3.0

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
小田原厚木道路沿いの市街化調整区域内に、冷蔵倉庫及び事務所の複合用途によるS造・3Fの建物を計画した。	0	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
0	耐用年数の長い空調・給排水配管を使用。	0
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
BEIm=0.64、LED照明設備を導入している	自動水栓及び節水型便器の採用	駐輪場・駐車場及び荷捌き用駐車スペースを設置している

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される